

令和4年度

江北町教育委員会の権限に属する事務の管理
及び執行の状況の点検及び評価報告書

1 はじめに

江北町では、平成27年4月1日改正施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の3の規定に基づき、「江北町教育大綱」を策定しました。

「江北町教育大綱」は、本町の教育、学術及び文化等の振興に関する総合的な施策に関する基本的な方針を定めるものです。

教育委員会では、教育大綱を受けて江北町教育施策実施計画として、

- 【 I 「生きる力」（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を身につけ、バランスのとれた児童・生徒を育む学校教育の推進 】
- 【 II 教育活動を支える教育環境の整備・充実 】
- 【 III 社会教育・生涯学習の振興、歴史や文化の継承と保存活用 】
- 【 IV 夢・感動と活力を生むスポーツの振興 】
- 【 V 子ども・子育て支援事業の推進 】

の5つを掲げ、各種の事務事業に取り組んできました。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正（平成20年4月1日施行）され、効果的な教育行政を推進していくために、教育委員会は毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、町民の皆様へ公表することが規定されました。

この報告書は、令和4年度事業に係る江北町教育委員会の点検・評価を実施したものです。

この点検・評価結果を教育委員会全体でしっかりと認識し、課題・問題点の改善に取り組むことで、今後の江北町教育行政の一層の充実を図り、町民の期待と信頼に応えていきたいと考えております。

令和5年8月

江北町教育委員会

2 江北町教育委員会の活動内容

(1) 教育委員会の会議運営

ア 教育委員会 定例会 12回 臨時 1回 計 13回

イ 議決の内容

- (ア) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為の対応方針
- (イ) 準要保護認定
- (ウ) 基本方針計画の策定
- (エ) 任命関係
- (オ) 教職員人事異動の方針・実施
- (カ) 報告、議案の審議
- (キ) その時々々の事案

ウ 議事録作成

- (ア) 開会及び閉会に関する事項
- (イ) 出席委員の氏名
- (ウ) 会議に出席した者の氏名
- (エ) 議決事項
- (オ) 教育長会等の報告の要旨
- (カ) 議題及び議事の概要
- (キ) その他

(2) 教育委員の活動

ア 諸行事への出席

(令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止による中止等の為、一部不参加)

- (ア) 入学式 卒業式 運動会 学校行事等への出席
- (イ) 学校訪問 (小学校、中学校)
- (ウ) 小中学校授業研究会への出席
- (エ) 教育委員会以外の会議や大会などへの出席

3 主要な施策に対する事業の点検・評価一覧

4段階評価 【A】…十分達成 【B】…ほぼ達成 【一】…評価不能
 【C】…やや不十分 【D】…不十分

《I「生きる力」(確かな学力、豊かな心、健やかな体)を身に つけ、バランスのとれた児童・生徒を育む学校教育の推進》		自己点検 評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	I-1 「生きる力」の基礎を培う幼児教育の推進			
主要な 施策	【幼児教育・保育内容の充実】 ・公立園として、町内の幼児教育をけん引し、教育・保育の質の向上に努めます。	【A】	【A】【A】【A】【A】	【A】
	【家庭と連携した生活習慣作りの支援】 ・保護者や園児に対し、啓発活動や情報発信などを行い、基本的な生活習慣づくりを推進していきます。	【B】	【B】【B】【B】【B】	【B】
<p>【幼児教育・保育内容の充実】</p> <p>成果 毎月1回の町内園長会を実施し保育の在り方や課題を共有することができました。</p> <p>課題 引き続き情報共有しながら「町の子どもを育てる」ための保育の在り方を考えていきます。</p> <p>指摘 幼児教育は、未来の江北町を背負う子どもたちを育てる教育の原点だと思います。情報共有、交換したことを実際の保育にしっかりと活かし、町全体の保育の質の向上に繋げてほしいと思います。</p> <p>対応 引き続き毎月1回程度の町内園長会を開催し、「江北町の子ども達を育てる」ために情報共有をしていきます。</p> <p>【家庭と連携した生活習慣作りの支援】</p> <p>課題 園児に対しては様々な場面で基本的な生活習慣について話をしてきたが、コロナ禍でもあり保護者に対する啓発活動が思うようにできていないため、定期的なお便りなどで基本的な生活習慣の大切さを知らせていくことが必要です。</p> <p>指摘 生活習慣については園児個々の理解、保護者個々の理解を十分に行い、互いに情報を共有しながら一緒に育てようとする思いが大切です。生活習慣づくりは今後の成長に大きく影響してくる事を根気強く保護者に伝えていく必要があるの で、啓発・情報発信を続けてください。</p> <p>対応 コロナ禍でできていなかったことなどを、新たな形で取り組めるような工夫をしていきます。</p>				

		自己点検 評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	I-2 「確かな学力」を育む教育の推進			
主要な 施策	【県調査の活用促進】			
	・12月の県調査の結果から、国語、算数・数学、理科、社会、英語の各教科について、基礎的・基本的な知識や技能の習得状況及び学習指導の成果や課題を把握し、指導方法の工夫・改善を図ります。更に次年度に接続した指導計画による一年間の学力向上の検証改善サイクルの徹底を図ります。	【B】	【B】【B】【B】【B】	【B】
主要な 施策	【ICTの活用】			
	・1人1台端末の環境に適した個別学習向けドリル教材を導入し、一人一人に合った学習の流れをつくり、学力の定着をサポートします。 【新】	【B】	【B】【B】【B】【A】	【B】
主要な 施策	【中学校における放課後等補充学習支援の充実】			
	・数学と英語において基礎学力の定着が十分でない生徒や、授業による指導のみでは学習内容の定着が十分ではない生徒の学力向上を図るため、外部人材を活用した放課後や長期休業中における補充学習の充実を図ります。	【B】	【B】【B】【B】【A】	【B】
<p>【県調査の活用促進】</p> <p>成果 昨年度の県調査の結果を踏まえ、学力向上対策評価シートを活用した学力向上に取り組むことができました。また、学力向上のPDCAサイクルを徹底することにより、成果指標を小学校はおおむね達成、中学校は達成することができました。</p> <p>指摘 ・文章問題に対する内容の理解や自分の言葉で説明する力が不足しているように見受けられますが、それに対する対策はいかがでしょうか。</p> <p>・成果指標達成に向けて更なる指導方法の工夫・改善に取り組んでいき、PDCAサイクルの徹底を図ってください。学力向上の取り組みにより、成果指標をおおむね達成できたことは評価に値すると思います。</p> <p>対応 R4年度の県調査の結果から、小中学校とともに国語科の学力向上にむけた手立てを検討していきます。</p> <p>【ICTの活用】</p> <p>成果 単元末に活用することにより、基礎・基本的な学習内容の定着の確認や学習のつまずきの克服に有効活用することができました。また、自習時間や小学校の学習タイムでは、個人の習熟度に合わせて活用することができ、個別学習の充実につながりました。</p>				

指摘 子どもたち一人一人に合った学習内容を準備することは大変な作業だと思いますが、より効果的な利用を研究し、個々の学びの推進に繋げてください。

対応 1人1台端末に導入したドリルの活用について教師間の差、また、教科間の差が見られる。学校とともに効果的な活用について研究していきます。

【中学校における放課後等補充学習支援の充実】

成果 全学年の生徒を対象に学習支援が必要な生徒や本人の希望にそって放課後学習会を実施することができました。
2年生においては、12月の県調査において数学、英語ともに前年度と比較し大きな伸びが見られました。

指摘 ・生徒の基礎学力の定着・学力向上のために、今後も継続し、さらなる充実を期待します。
・県調査で前年比で大きな伸びが見られたという事はおおむね目標達成できたのではないかと。

		自己点検 評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	I-3 「豊かな心」を育む教育の推進			
主要な 施策	【道徳教育の充実】			
	・小中学校全学級で年間1回以上、保護者や地域の方々に道徳の授業を公開します。	【B】	【B】【B】【B】【B】	【B】
主要な 施策	【不登校対策の充実】			
	①小中学校に町費のスクールソーシャルワーカーを1名ずつ配置し、スクールソーシャルワーカーのコーディネートによる家庭や関係機関等が連携・協力した取組を支援します。	【A】	【B】【A】【A】	【B】
	②別室における学校生活支援事業」を活用し江北中の「ビッキールーム」に常時支援員を配置します。支援員は、児童生徒の困り感に応じて支援を行い、教室復帰を目指します。	【B】	【B】【B】【B】【A】	【B】
主要な 施策	【いじめ問題対策の充実】			
	・アンケート調査や面談を実施し、早期発見に努めます。	【A】	【A】【A】【A】【A】	【A】

【道徳教育の充実】

成果 小中学校ともに「ふれあい道徳」を1回実施することができました。

課題 コロナ感染症拡大防止のため、地域の方々への公開はできませんでした。

指摘 子ども達が正しい知識や人権感覚を身につけ豊かな心で成長していけるよう、学校と家庭と地域の連携や町の子も達と大人と一緒に考える機会を増やし、道徳教育を推進していく必要があります。コロナも終息に向かいつつあるので、令和5年度は地域の方々へ公開できると良いと思います。

【不登校対策の充実】

①成果 不登校児童生徒や支援を要する児童生徒の家庭訪問を積極的に実施するとともに、医療機関をはじめ関係機関等と連携した支援ができました。

指摘 不登校問題は、本町でも最大の課題となっています。子ども達の困り感を早期に探り、不登校児童生徒の解消に向けて、家庭との連携や専門機関との密接な協力・支援の体制を整えてください。

対応 不登校児童生徒の解消と悩みを抱える児童生徒及び保護者への支援を行うために、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの継続的な配置に努めます。

②成果 支援員を常駐させることで、不登校生徒に寄り添い、学校での居場所づくりと学級復帰への支援を行うことができました。また、個に応じた声掛けや支援や声掛けを行うことで、学校行事への参加や学習意欲の向上につながりました。

指摘 不登校の児童・生徒に対し、ピッキールームの利用を積極的に勧めることで、学校で安心して登校できる居場所づくりと学級復帰に繋げてもらいたいと思います。

【いじめ問題対策の充実】

成果 児童生徒や保護者を対象としたアンケートを定期的実施し、いじめの早期発見に努めることができました。

また、いじめ覚知時には、早急にいじめ防止対策委員会を開催し、いじめの解消に取り組みました。

指摘 ・アンケートによる早期発見で素早い対応・取組みに感謝します。これと共に、子ども達が誰かに相談することのできる環境づくりも大切だと思います。面談やコミュニケーションをしっかりと取って早期発見に努めてください。

・定期的なアンケートと共に日常的な困り事をいつでも相談できる方法としてICTの活用を検討してはどうか。

		自己点検 評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	I-4 「健やかな体」を育む教育の推進			
主要な 施策	【体力向上に向けた総合的な取組の充実】			
	・全国体力・運動能力、運動習慣調査における各学年男女別の体力合計点の平均値が県の平均値を上回る〔小学校12（6学年男女別）のうち6、中学校6（3学年男女別）のうち3〕ことを目指します。	【C】	【C】【C】【C】【C】	【C】

主要な 施策	【健康教育の推進】			
	・県が実施する小学5年生及び中学2年生を対象とした朝食等実態調査において、「毎日食べた」と回答する児童生徒の割合を90%以上にします。	【A】	【A】【A】【A】【A】	【A】
主要な 施策	【学校給食の充実】			
	・食物アレルギー対応の充実を図ります。	【A】	【A】【A】【A】【A】	【A】
主要な 施策	【安全教育の推進】			
	・学校において交通安全教室等の充実を図り、自己安全管理能力を育成します。【充】	【A】	【A】【A】【A】【A】	【A】

【体力向上に向けた総合的な取組の充実】

成果 県平均（令和3年度県平均）を上回る学年男女別の数が小学校で7、中学校で2でした。

課題 全国・県と比較し、自然の中で遊ぶことなどが低い傾向にあり、遊びを通して体を動かすことやスポーツをすることへの関心や意欲の向上が必要です。

指摘 ・「健全な心は健全な身体にやどる。」とありますが、意味を教え、丈夫な体を作って欲しい。

・関心や意欲を向上させる為、遊ぶように競いあったり、ゲーム性があると楽しんで活動できると思います。年間を通して〇〇大会等企画、開催して身体を動かすことが習慣になるような取り組みが必要だと思います。また、学校生活の中で体を動かすこと、運動する機会を増やし、しっかりと基礎体力・運動能力を身につけて欲しいと思います。

【健康教育の推進】

成果 「毎日3回食事をするか」という質問に対し、肯定的に回答した児童生徒が小学校で97%、中学校で90%でした。

また、「健康であるために食事が大切である」と回答した児童生徒が小中学校とも100%であり、児童生徒は、食の重要性を正しく理解しているようです。

指摘 ・定期的（1日3回）に食事をとることは、健康であることにとって大変重要なことです。子どもたちが食の重要性を正しく理解していることは、大変良いことで、家庭との連携を図り、家庭にも食の重要性を正しく理解してもらう必要があると思います。

・児童生徒が食の重要性を正しく理解していることは良い事ですが、実際に食事の用意する保護者に食の重要性を伝えていく必要があると思います。

【学校給食の充実】

成果 実施していなかった新入学児の保護者との面談を実施しました。また、在校生でアレルギー対応中の児童生徒保護者とも面談し、変化していく症状の把握を行うことで対応の充実を図りました。

指摘 保護者との面談で正確なアレルギー対応につながったと思います。事故が起きないためにも、症状把握に努め、安全な食の提供をお願いします。

【安全教育の推進】

成果 交通安全教室を工夫して実施することで当事者意識をもたせ、交通安全意識を高めることができました。

また、県の指定事業を活用し、体験を取り入れた交通安全学習を実施することができました。

指摘 学校環境全体の中でも安全に対する意識を常に持ってほしい。児童生徒が危険を回避し、対応できるよう指導及び交通安全学習の実施をお願いします。通学路の点検、危険個所の把握についても引き続きご指導をお願いします。

対応 小中学校とも登下校時の交通事故が発生しており、継続して交通安全教育の充実に努めます。

【有識者の意見】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、事業等が開催できなかったこと、出来たことなどありますが、今回できなくても、来年度に向けてどう改善していくのかの具体的な施策が必要かと思います。
- ・「十分できた」との自己評価に対して、教育委員評価で4名中1名の「一つ下のランクの評価」付けがあつて、総合評価を下振りの評価にする際には、低評価者の意見に対して他の者が「〇〇氏の意見には賛同できる」となった場合のみ下振りするなど、配慮が必要ではないでしょうか。
- ・「体力向上に向けた総合的な取組の充実」の部分で、なぜ達成できなかったのかの要因分析が不足しているのではないかと。子どもたちが自然の中で遊ぶことができなかったことに要因を求めているように思われるが、遊ばなかったから体力向上ができなかったのか、それとも別の要因が考えられるのかが不明である。
- ・「県調査の活用促進」の部分で、「成果 昨年度の県調査の結果を踏まえ、学力向上対策評価シートを活用した学力向上に取り組むことができました。また、学力向上のPDCAサイクルを徹底することにより、成果指標を小学校はおおむね達成、中学校は達成することができました。」という表現と、「指摘 文章問題に対する内容の理解や自分の言葉で説明する力が不足しているように見受けられます」との指摘に齟齬がみられわかりにくい。
- ・タブレットの活用について 若い先生と年配の先生など、教師間の差というのは出てくると思われる。したがって教員の個々人の責任に帰するのではなくて、どの先生も使いこなせるような体制を図ってほしい。また教科間の差もあると思われるが、どのようにしたら改善できるかというところまで踏み込んでほしい。
- ・不登校対策の充実で、指摘の中に「本町でも最大の課題となっている」とある。昨年も 同じように書いてあったことから、対策がうまくいかなかったのかと読める。県内でも突出して不登校が多いわけではないとしたら、適切な表現にすべきと思われる。

《Ⅱ 教育活動を支える教育環境の整備・充実》		自己点 検評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	Ⅱ-1 幼児教育を支える環境の整備			
主要な 施策	【特別な支援を要する子への体制整備の充実】			
	・学期に1回計画的な園内支援会議を行い、緊急な場合はその都度支援会議を開き支援の方法を検討していきます。	【A】	【A】【A】【A】【A】	【A】
<p>【特別な支援を要する子への体制整備の充実】</p> <p>課題 学期に1回の支援会議や臨時の支援会議において情報の共有は十分にできています。しかし、支援の在り方についてはまだ共有できていない部分も見られるため、個々の実態に合った支援の在り方をしっかり共有し実践できるようにしていきます。</p> <p>指摘 支援の在り方については、個々の実態を十分に理解することが必要だと思います。個々の特性に合わせた支援について、園・保護者と共有し、サポートできるような支援体制を整えてください。</p> <p>対応 担任や特別支援コーディネーターを中心に日常的な支援の在り方を話し合い、支援員とも密に連携をとっていきます。</p>				

		自己点 検評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	Ⅱ-2 学校教育環境の整備推進			
主要な 施策	【学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の充実】			
	・地域が学校の応援団となるように学校運営協議会を通して学校の現状や運営方針について理解を深めます。	【A】	【A】【B】【A】【A】	【B】
主要な 施策	【特別支援教育の充実】			
	・発達障害やその傾向のある児童生徒に対する適切な指導及び必要な支援を行います。	【B】	【B】【B】【B】【A】	【B】
主要な 施策	【外国語教育の充実】			
	・非常勤講師（小学校）1名、外国人ALT1名、日本人ALT2名を配置し、外国語教育の充実を図ります。	【A】	【A】【A】【A】【A】	【A】
主要な 施策	【交流事業の充実】			
	①小学校交流事業を通して、東京都足立区立江北小学校との交流を行うことにより、自身の住む地域への関心を高めます。		【評価不能】	

	②中学生海外交流事業ではオーストラリアとのオンライン交流を実施することで、コロナ禍の中でも交流を継続し、お互いの多様な文化を認め合うことを目指します。	【B】	【B】【B】【B】【B】	【B】
主要な 施策	【教職員の多忙化の解消】			
	・学校の業務改善を図るために校長研修会等で検討します。	【B】	【B】【B】【B】【A】	【B】
主要な 施策	【江北町「部活動の在り方に関する方針」の円滑な実施】			
	・方針に則り、部活動の休業日及び活動時間等を適切に設定します。	【B】	【B】【B】【B】【A】	【B】
<p>【学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の充実】</p> <p>成果 学校運営協議会を4回開催（予定）し、小中学校の参観を行い、委員への理解を深めました。</p> <p>指摘 ・委員だけでなく、保護者、学校、地域で課題や目標を共有し、地域ぐるみで学校を応援してもらえるよう、コミュニティ・スクールである事を最大限に活用してください。</p> <p>・学校への理解を深めていただき、子ども達・学校・地域が一体となった取り組みをお願いします。</p> <p>【特別支援教育への充実】</p> <p>成果 講師を招聘した研修会を各学校で実施することで支援を要する児童生徒の理解と指導の改善に努めることができました。また、学校生活支援事業を活用し、巡回相談員や専門家派遣による指導・助言を参考に特別支援教育の充実を図りました。</p> <p>指摘 ・発達障害の子どもたちが増加している根本要因は何でしょうか。そこから支援が始まるのでは。</p> <p>・関係機関との連携で適切な特別支援教育を行ってってください。</p> <p>・適切な支援ができるよう積極的な研修会の実施、学校生活支援事業の活用により充実した支援教育をお願いします。</p> <p>【外国語教育の充実】</p> <p>成果 英語専科非常勤講師とともにALTが指導に入ることで、言語活動を中心とした授業を展開することができました。</p> <p>指摘 ALTと触れ合える機会を増やし、英語をもっと身近に感じられるよう工夫してください。</p> <p>授業の充実に期待します。</p> <p>【交流事業の充実】</p> <p>①成果 足立区立江北小学校との交流との交流はできなかったが、ALT（オーストラリア出身）による英語教育の中でオーストラリアとのWEB交流を実施しました。</p> <p>課題 足立区役所、足立区立江北小学校へ町誌を寄贈し、教育長が直接交流の交渉を行いました。相手方に交流の意思が無く、不調となりました。</p> <p>指摘 他での交流事業の実施をお願いします。</p>				

対応 小学校で実施している国内交流事業については、交流先の検討が必要です。また、コロナ禍の間もオーストラリアなどのWEB交流をしつつ、今後の方向性を考えます。

②成果 コロナ禍によって実際の渡航や来日する交流は実施できませんでしたが、町誌のオーストラリア交流事業を一部抜粋して翻訳したものをメールで送付したり、70周年記念イベントに関する町広報誌を毎月情報共有し、連携を深めました。また、ALT（オーストラリア出身）による英語教育の中でオーストラリアの文化に対する理解を深めました。

指摘 ・コロナ禍でも工夫して異文化交流を継続できたことは良かったです。引続き交流できるように努めてください。交流を続け、いつか渡航・来日できるようになる日が来ることを願います。

・幸いにもALTがオーストラリア出身であるので、大いに活用してほしい。

【教職員の多忙化の解消】

成果 昨年度より検討してきた校務支援システムを2学期より導入し、出席簿の管理や通知表の作成、進路事務において職員の業務改善を図りました。

指摘 校務支援システムを有効に活用し、業務改善に向けた対策をお願いします。

【江北町「部活動の在り方に関する方針」の円滑な実施】

成果 毎月第3日曜日を部活動休養日に設定し、確実な実施に努めました。

また、活動時間とともに、平日及び休日の部活動休養日の実施についても適切に行うことができました。

指摘 休業日や活動時間が適切に守られた事は評価できます。部活の地域移行の準備についても検討していく必要があります。

今後も適切な部活動の運営をお願いします。

【有識者の意見】

- ・特別支援教育は、適切な支援教育を目指し、研修会を重ねていくことで、充実を図れるのではないかと思います。
- ・交流事業他はウェブを充分に利用していくと改善できることがたくさんあるように思います。今後の発展を期待します。
- ・「交流事業の充実」で、評価の評価不能の書き方はこれで良いのだが、この書き方だと交流事業が再開できないように取れてしまう。再開にむけて取り組んでいることがわかる表現にした方がいいのではないだろうか。
- ・教職員の多忙化の解消のところで、2学期からシステムを導入して業務改善が図られたのならば評価はAでもいいのではないかと。少しの改善だったとしても、積極的に評価していいように思われる。しかし、システム導入によって改善がはかられたとしても一時的なものに終わってしまえば元の木阿弥である。引き続き、注視してほしい。
- ・特別支援教育の充実は、江北町だけの問題ではないが、就学前、小学校と増加すれば当然中学校のクラス増につながっていく。体制の充実を引き続き図ってほしい。

《Ⅲ 社会教育・生涯学習の振興、歴史や文化の継承と保存活用》		自己点 検評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	Ⅲ-1 生涯学習体制の確立と活動の推進			
主要な施策	【ライフステージに応じた教室・講座等の開催】			
	・ニーズに応じた各種公民館講座を開催及び自主的な生涯学習活動の促進を図ります。	【C】	【C】【C】【D】【C】	【D】
<p>【ライフステージに応じた教室・講座等の開催】</p> <p>課題 県内の新型コロナウイルス感染症拡大状況がよめず、開催時期を逸しました。今後は、講座の内容、方法を工夫していく必要があります。</p> <p>指摘 コロナの感染状況が減少傾向にあります。ウィズコロナでの方法、講座の開催方法・内容を工夫して、まずは講座の開催を検討してください。</p> <p>対応 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、今年度は開催出来ていないが、次年度に向けて通常通り開催する内容等を検討します。</p>				

		自己点 検評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	Ⅲ-2 青少年の健全育成			
主要な施策	【青少年健全育成事業の推進】			
	・毎月一回のあいさつ運動の実施や児童生徒のスポーツ・文化活動の推進を図ります。	【B】	【B】【B】【B】【B】	【B】
<p>【青少年健全育成事業の推進】</p> <p>課題 家庭、学校、地域が一体となり、スポーツ、文化団体と連携し情報発信を続けていくとともに、子どもたちの学びの場を継続的に提供する必要があります。</p> <p>指摘 少年の主張大会のように子どもたちが活躍する場を増やしていくとともに、保護者だけでなく町民の人たちにも、積極的に活動して行って欲しいです。</p>				

		自己点 検評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	Ⅲ-3 文化財の保護・継承			
主要な施策	【町指定文化財の保護と活用】			
	・管理者と共に指定文化財の保護と活用を行っていきます。	【B】	【B】【B】【B】【B】	【B】
主要な施策	【文化財保護のための各種開発と埋蔵文化財保護との調整】			
	・埋蔵文化財包蔵地における開発行為を事前に把握し、文化財保護と開発との調整を図ります。	【A】	【B】【A】【A】【A】	【B】
主要な施策	【町誌編さん作業】			
	・完成した江北町誌を多くの町民の方々へ配布し、郷土を愛する心と今の江北町について理解を深めることに寄与します。	【B】	【B】【B】【B】【A】	【B】

【町指定文化財の保護と活用】

課題 管理者と課題を共有しながら、文化財保護と伝承に努めていく必要があります。

指摘 文化財の保護と伝承と後継者育成を推進して行ってください。

対応 各管理者や文化財保護審議委員の意見を聞きながら、保護と活用に活かします。

【文化財保護のための各種開発と埋蔵文化財保護との調整】

課題 開発者と情報共有しながら、埋蔵文化財の保護に努め、開発調整を進めていく必要があります。

指摘 新たな埋蔵文化財はあるのでしょうか。あるとすれば、新たな文化財発掘を期待します。

埋蔵文化財が開発により無くすことにならないように保護に努めてください。

対応 開発業者と事前に情報共有し、埋蔵文化財の保護に努め、開発調整を進めていきます。

【町誌編さん作業】

成果 今年度配布目標を2,000冊とし、1月13日現在で町内無料引換分1,610冊、販売83冊、寄贈分189冊、計1,882冊の配布を行いました。引き続き広報等で必要な方がいないか呼びかけます。

指摘 ・町全体には行き届いていると思います。子ども達に町誌の内容を学ぶ機会があればよいと思います。

・より多くの方に江北町のことを知ってもらえるように、ホームページにも掲載し、購入できるようにしてはどうでしょうか。

		自己点 検評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	Ⅲ-4 人権・同和教育の推進			
主要な施策	【人権・同和教育の啓発と人権学習機会の提供】			
	・人権・同和問題啓発のための研修会を実施します。 広報誌等による啓発を図り、広く学習の機会を提供します。	【A】	【A】【A】【A】【A】	【A】
<p>【人権・同和教育の啓発と人権学習機会の提供】</p> <p>課題 人権・同和問題を正しく理解し、他人事ではなく、身近にあることを認識してもらうことが重要です。</p> <p>指摘 人権・同和問題を正しく理解し、行動できるようにすることが重要です。引き続き人権同和問題に対する学習、啓発に努めてください。</p> <p>対応 今後も引き続き活動の推進を行い、各集会等でも研修の機会をつくるなど、広く啓発を実施します。</p>				
<p>【有識者の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習もウィズコロナになってきているので開催できるようになってくると思われます。 ・文化財等は予算の問題もあるようなので、そこをしっかりと主張して、予算に入れて頂けるようにしていく必要があると思われま 				
<ul style="list-style-type: none"> す。 ・町誌は、完成されることができて、充分であると思います。 ・町誌編さん作業は、数十年に一度の作業である。刊行が遅れる自治体も少なくない中、昨年度中に完成し予算も執行でき目標も達成できたのであれば、評価はAでよかったのではないかと思われる。 ・公民館講座については、昨年もコロナの影響でできていなかった。だが他の事業は出来ているところもあるにもかかわらず、公民館講座だけが出来ていない。コロナの影響を理由に出来ないという書き方は問題があると昨年も指摘しておいたはずだが、原因を探り改善してほしい。 				

《IV 夢・感動と活力を生むスポーツの振興》		自己点検 評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	IV-1 社会体育施設の整備充実及び管理体制の拡充			
主要な施策	【社会体育施設の管理・整備】			
	・施設維持管理のための修繕、改修を計画的に行っていきます。	【B】	【B】【B】【B】【B】	【B】
<p>【社会体育施設の管理・整備】</p> <p>課題 教育委員会管轄外の他施設でも老朽化が進んでいます。個別施設計画を基に中長期的な視点から改修等をしていくことが必要です。</p> <p>指摘 ・緊急を要するものを優先に計画的に修繕、改修を行い、有効に利用できる環境づくりをお願いします。 ・B & Gセンターについては、どの様に計画されているのでしょうか。</p> <p>対応 個別施設計画を基に計画的に修繕・改修を実施します。</p>				

		自己点検 評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	IV-2 生涯スポーツの推進とスポーツ交流事業の推進			
主要な施策	【ニュースポーツの推進と普及】			
	・ニュースポーツ講習会や希望区への出前講座を実施し、推進と普及の強化を図ります。	【B】	【B】【B】【B】【B】	【B】
<p>【ニュースポーツの推進と普及】</p> <p>課題 年々、ニュースポーツ用具の貸出依頼の件数が増えています。ニーズに合わせ用具購入及び普及活動が必要です。</p> <p>指摘 ここ数年できなかったニュースポーツの紹介や普及活動等講習会を再開し、子供から年配の方まで楽しめるスポーツとして交流活動にも利用していただきたい。</p> <p>対応 取り組み事例の紹介を行うなど普及に努め、必要に応じて用具の整備を行います。</p>				

		自己点検 評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	IV-3 第78国民スポーツ大会等への準備			
主要な施策	【SAGA2024江北町実行委員会の運営】			
	・佐賀県及び関係競技団体等と連携を図り、大会の開催へ向けた準備を進めていきます。また、本町開催競技の実施準備や国スポ等のPR等を実行委員会で協議検討していきます。	【B】	【B】【B】【B】【B】	【B】

【SAGA2024江北町実行委員会の運営】

課題 分野ごとに実行委員会総会から付託された事項の調査・審議、委任事項の審議・決定する専門委員会を随時開催していく必要があります。

指摘 ・SAGA2024の成功に向け、綿密な計画のもと事業を進めていってほしい。
・競技会の円滑な運営は各関係機関を連携しながら町内外にも広報し、協力を得られるよう準備業務を行ってください。
・江北町開催の競技のPR等も検討してください。

対応 佐賀県及び関係競技団体等と連携を図り、「SAGA2024国スポ江北町開催推進総合計画（年次計画）」に基づき大会の開催に向け準備に取り組みます。

【有識者の意見】

・改修、検討等、計画だけで先に進んでいないことが多いのではないのでしょうか。老朽化も事故が起こってからでは遅いものがあります。取り急ぎ進めるべきではないのでしょうか。

・「SAGA2024」への協力は求められるところである。だが、動員組織になるのではなく、本町のスポーツ活動の充実に資する形で進めていってほしい。

《V 子ども・子育て支援事業の推進》		自己点 検評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	V-1 子どもの心身の健やかな成長に資する教育・保育環境の整備			
主要な 施策	【民間活力による保育供給量の拡充】			
	・短時間勤務の保育士資格を持たない保育士の補助を行う者を雇上げることや、地域住民や子育て経験者などの多様な人材を保育にかかわる周辺業務に活用します。これにより、保育の体制を強化し、保育士の負担を軽減し保育士の就業継続及び離職防止を図り、働きやすい職場環境を整備します。	【A】	【A】【A】【A】【A】	【A】
<p>【民間活力による保育供給量の拡充】</p> <p>成果 民間保育所に対し「保育補助者雇上強化事業費補助金」及び「保育体制強化事業費補助金」を交付することで、保育士の負担軽減と就労継続及び離職防止を図りました。</p> <p>指摘 ・保育士の不足は、乳幼児の安全性に関わることであり、保育士の地位向上、働きやすい環境、職場づくりの整備を図り、保育士の確保に努めてほしい。多様な人材を保育に活用することで、保育の強化に繋がっていると思います。</p> <p>・保育ニーズに応えられるように保育体制を整えてください。また、保護者の急病や病後で保育が困難になった時の子どもの受け入れ先等も合わせて整備してください。</p> <p>対応 保育士の業務負担軽減や就労継続を目的として国や県が実施する事業の情報収集に努め、各園に周知します。</p>				

		自己点 検評価	教育委員 評価	教育委員 会評価
基本方針	V-2 家庭における子育て支援			
主要な 施策	【こどもセンター「うるる」事業】			
	・事業全般においてコロナ対策を十分に行いつつ、安心安全な児童館運営を行い、自由来館で、いつでも安心して利用できる身近な遊びの場の提供を行います。	【A】	【A】【A】【A】【A】	【A】
主要な 施策	【給食費助成事業による経済的負担の軽減】			
	・小・中児童生徒への学校給食費補助により、保護者の経済的な負担を軽減し、子育てしやすい町を目指します。	【A】	【A】【A】【A】【A】	【A】
<p>【こどもセンター「うるる」事業】</p> <p>成果 日々の開所では、遊具など消毒を十分に行い感染症対策を行いました。また、ぴよぴよルームなどのイベントは、検温消毒などのコロナ対策を十分に行い、ハロウィンイベントやクリスマス会は事前予約とし入場者を調整し実施しました。</p>				

指摘 コロナ対策を行い、安心安全な児童館運営が行えた事は良かったと思います。今後もイベント等を継続し、子供達が気軽に利用できる遊び、学びの場として引き続き運営をお願いします。

【給食費助成事業による経済的負担の軽減】

成果 コロナ禍が長期化する中、物価高騰に伴う給食費の高騰分についてもコロナ交付金を活用して助成しました。

課題 子育て世代の経済的な負担軽減を継続させるため恒久的な財源確保が必要です。

指摘 ・町の魅力の一つでもあると思います。引き続き財源確保をお願いします。

・一旦、開始した事業は、よほどのことがない限り継続してほしい。食は、命にかかわることです。

・物価高騰分の助成を速やかに行ってもらえた事で、安心安全な食材を選んでいただけているものと思います。より新鮮で安全な食材や旬の食材が安価に確保できるよう、もっと地産地消を推進される事を期待します。

対応 物価高騰が続くことが見込まれる中、給食の質や量を維持しながら助成事業を継続できるよう、財源確保に努めます。

【有識者の意見】

・子育て支援には力を入れているということでしょうか。これからも町民の需要に応じた対策をしていって頂きたいと思います。

・子育て支援事業は、少子化が進む中でどの自治体でも求められるところである。支援事業の情報が、必要としている町内の家庭に行き届いているのかどうかを点検しながら進めていってほしい。